

努力は必ず糧になる

重信中学校3年
八木 愛梨さん(志津川南)
Airi Yagi



キラリ東温この人なう No.91

輝く人にインタビュー

腰に締めた黒色の帯が光る。柔道は、投技の種類が68本、固技が32本、合わせて100本の技がある。技の攻防には、自分の体を使った動きや移動の「体さばき」が大切だ。

重信中学校3年生の八木愛梨さん(14)は、第34回愛媛県中学校新人体育大会個人52kg級で1位となった。柔道を始めたのはお父さんの影響。現在は皿ヶ嶺柔道会で日々稽古に取り組んでいる。「諦めずに頑張れるところが自分の強み」と笑顔を見せる。

柔道会の稽古は1時間弱のトレーニングから始まる。「柔道は全身の筋肉が必要で、柔道場内を走ったり腕立てをしているので、柔道を始めてから筋力がつき始めました」と八木さんは話す。トレーニング後は組みの稽古。「いつも同年の男子と組み稽古をしています。男子に負けないような体をつけているところです」練習すれば力がつくところが柔道の魅力。今は県大会で1位を取り、四国大会で上位を取れるようにしたい」と八木さんは笑顔をこぼした。

編集後記

総体が各地で開催された6月。バレー部の取材中に「チームの一人が落ち込むと全体の雰囲気につながる」という言葉を高校生から聞いたとき、ハッとしました。どんな環境でも明るくいればなんとかなることを教えてもらった気がします。(和田)

広報の係になって早くも3カ月が経ちました。休みの日には、なかなか上達しないカメラを手に市内を巡って新たなスポットを探索しています。皆さんいいスポットがあったら教えてくださいー(渡部)

目次 Contents

02_特集 菖蒲がつなぐ心/06_PICK UP 最後の夏/08_スイッチとうおん/14_子育てガイド/16_ふれあい広場/20_情報BOX/25_参議院議員通常選挙/26_暮らしと健康のカレンダー/28_キラリ東温この人なう